

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-164	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
第一	CII183-901	CREATIVE English Communication II NEW EDITION		

1. 編修の基本方針

- (1) 音声、表現、文法などといった英語の言語知識や五つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身につけられるようにした。
- (2) 各レッスンの題材は、知識として知っておきたい内容であるばかりでなく、豊かな思考力を育める内容とした。また、我が国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。
- (3) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるよう、五つの領域の言語活動およびそれらを統合した言語活動を豊富に提供する構成とした。
- (4) 英語と日本語の表現形式の違いなどに注意して、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材／言語活動	① 高校生にとって身近で日常的な話題のみならず、知的で確かな教養を与える内容や知的好奇心を喚起する内容を中心とした。(第1号)	Lesson 1 ～ 10、Optional Lesson 1・2
	② 気候変動に具体的な対策を提案する若者や、探検家として活躍する女性のメッセージを紹介し、目標達成に向けてどのようなことをすべきかについて発信する。(第2号)	Lesson 1・7
	③ 文字のフォントについて学び、読みやすい文書の見た目はどのようなものか考え、発信する。(第2号)	Lesson 3
	④ 防災や電池といった社会に必要なテクノロジーについて理解し、それらが未来において発展している姿を想像して表現する。(第3号)	Lesson 4・8
	⑤ 食品ロスの実態および、それを軽減するために実施されている対策を取り上げた。(第3号)	Lesson 6
	⑥ フェイクニュースについて学び、フェイク写真の描写となぜそれが作られたかの推察を発信する。(第3号)	Lesson 10
	⑦ 気候変動の実態を知り、その対策としてできることを表現する。(第4号)	Lesson 1
	⑧ 動物の特徴的な睡眠について学び、その睡眠習慣はどのように形成されたのかを想像して表現する。(第4号)	Lesson 2
	⑨ 平和をテーマにした建築物とその創作者について学び、自分が考える平和とはどのようなことか意見を交換する。(第5号)	Lesson 5
	⑩ オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について理解し、オーバーツーリズムの問題を克服するためにどのようなことをすべきか発信する。(第5号)	Lesson 9

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 本文への導入ページ、本文ページ、本文で学習した内容を深めるページという、一連の学習の流れをわかりやすくし、段階的に学習できるようにした。
- 各レッスンの冒頭にはレッスン全体の学習目標を、各パートにはパート別の学習目標を明示し、生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。さらに、後見返しには教科書全体における五つの領域別の **CAN-DO** リストも設けている。
- どの領域の言語活動を行うかをわかりやすくするために、各言語活動には五つの領域別のアイコンを置いた。統合的な言語活動を行うことを想定した箇所には複数の領域のアイコンを設置している。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた **Focus on Five Skill Areas** を設けた。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ **Did You Know?** を設けた。また、各レッスン冒頭には内容的に関連している他教科や **SDGs** を示した。英語の言語知識やコミュニケーション能力以外にも、さまざまな教養を涵養できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-164	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
第一	CII183-901	CREATIVE English Communication II NEW EDITION		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 何ができるようになるか、どのように学ぶかを明示し、主体的な学びを促進
 - ・どのような言語活動を行うかを含む学習目標を、各レッスンの冒頭と各パートなどに示し、主体的に学習に取り組めるようにした。
 - ・各レッスンで取り上げた題材は課題解決型の本文とし、レッスン末の Your Performance はレッスン全体にかかわる課題を解決する言語活動である。
 - ・後見返しには、教科書全体における五つの領域別の CAN-DO リストを示した。
- 必然性のあるコミュニケーション場面における言語活動で、思考力や判断力を育成
 - ・「英語コミュニケーション II」の五つの領域別の目標を実現するために設定した言語活動に、領域別のアイコンを置くことで、目標と言語活動との関係を明示した。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
 - ・言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた Focus on Five Skill Areas を設けた。
 - ・Focus on Five Skill Areas は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を念頭にまとめた。
 - ・各レッスンの Activity Plus はインタビューやプレゼンテーション、アンケートなど、課題を解決するために必然性のあるコミュニケーション場面を多く設定し、言語活動がより活性化するよう配慮した。
- 音声、語、文法事項などの「知識」は「活用」することを重視
 - ・Sound Focus および Word Focus は、音声知識や語彙知識を実際に活用することを想定した記述となるように心がけた。
 - ・Focus on Language の Exercises は文法知識の活用を意識した問題も取り入れた。接続詞や前置詞については、それらを含む重要表現などを本文に出現させた。
- 他の教科等で学習した内容や ESD 教育に対応
 - ・教科学習と外国語学習を統合する CLIL (内容言語統合型学習) の考え方も背景に題材を選定した。
 - ・他教科で学習する内容を、複数のレッスンの題材として取り上げたことにより、各学校における教科横断・教科連携型の授業に対応できる。
 - ・関連教科とともに、関連する SDGs についても示した。現代の諸課題を認識し、対話的な言語活動などによって問題解決能力が育成されることを期待した。

本課の構成と特色

- (1) レッスン扉
 - ・Get Ready : 英語を聞き、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。
 - ・Goals for Lesson 1 など : 「思考・判断・表現」「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」という観点別のレッスン全体の目標。
 - ・内容的に関連している他教科や SDGs も提示。
- (2) Did You Know?
 - ・本文を読んだり、表現活動をしたりする際に参考にしたい背景情報。
- (3) Part 1~3
 - ・リード文 : 本文の導入となる内容の提示。

- ・本文：パラグラフの先頭にパラグラフ番号を付した。また、各文の先頭には文番号を付した。行間の「G-1」などは Grammar で取り上げた内容であることを示す。
- ・Goals：「思考・判断・表現」、「知識・技能」の観点からの各パートの目標。
- ・New Words：新出単語と発音記号。CEFR-J Wordlist の A2 レベルの語は、表現活動でも積極的に用いたい「発信語彙」として赤字にし、他の語と区別した。また、国名などを除く固有名詞等も異なるフォントを用いて区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・Phrases：重要表現と例文。
- ・Sound Focus：新出単語の発音に関するコラム。
- ・Word Focus：新出単語の語彙情報に関するコラム。
- ・脚注部：文法事項の例文。
- ・Questions：各パラグラフの要点を確認する問題。
- ・True or False：本文の内容をリスニングによって確認する問題。
- ・Now You Say It!：本文内容を参考にして、自分自身の考えなどを表現する活動。

(4) Bird's-Eye Viewing

- ・本文：Part 1～3 の本文をまとめて再掲した。80wpm と 100wpm を音読の目標時間に設定し、それぞれに対し読む速さの目安時間を示した。
- ・Words & Phrases：新出語・新出表現以外で本文に出現した重要なものについて、そのそれぞれの英英定義と結びつける問題。
- ・Rapid Reading：Part 1～3 を再度通読したうえで、その概要をまとめる活動。

(5) Make It Your Own!

- ・Summarize：Part 1～3 の本文内容を視覚的にわかりやすくまとめる問題。
- ・Retell：上でまとめた内容を活用して、本文内容を伝える活動。

(6) Focus on Language

- ・Goals：「知識・技能」の観点からの目標。
- ・Grammar：文法事項の説明と例文。
- ・Exercises：A 問は、整序作文や与えられた状況に適した英文を完成させる問題などによって、重要表現の理解を試す問題である。B 問および C 問は、文法知識を活用して話したり書いたりする言語活動としている。

(7) Activity Plus

- ・見出し：コミュニケーションの場面の提示。
- ・リード文：本文の導入となる内容の提示。
- ・Goals：「思考・判断・表現」の観点からの目標。
- ・本文：コミュニケーションの場面にあわせたさまざまなテキストタイプの本文を聞いたり読んだりする活動。聞く活動の SCRIPT には、語などの学習すべき言語材料が含まれているため、巻末の「SCRIPT 集」に SCRIPT を掲載し、その内容をふり返りやすくさせた。
- ・New Words：新出単語と発音記号。
- ・Phrases：重要表現と例文。
- ・Sound Focus：新出単語の発音に関するコラム。
- ・Word Focus：新出単語の語彙情報に関するコラム。
- ・Comprehension：聞いたり読んだりした本文内容をまとめる問題。
- ・Your Performance：上でまとめた内容を参考に、レッスン全体の課題解決として自分自身の考えなどを表現する活動。

その他の特色

- Focus on Five Skill Areas（五つの領域の活動に役立つ英語の特徴などをまとめたページ。）
- 生徒の自学自習への配慮（二次元コードや URL から動画の視聴や、本文を表示しながら音声を聞いたり、新出語の英英定義を確認したりすることが可能。）
- カリキュラム・マネジメント対応（各パート 2 ページ構成で、組織的な授業計画が可能）
- 特別支援への目配り（学習内容を視覚的に示すアイコン、学習要素の提示方法や位置を基本的に固定）
- 英語コミュニケーション I での学習からの円滑な接続（英語コミュニケーション I 既習の文法事項も収録。）

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Lesson 1～10 ①Get Ready 写真を見ながら英語を聞く。その後、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア、イ、ウ (3)① ア、イ、エ 3 内容の取扱い	p.6、20、34、50、64、78、92、108、122、136	別表
②Part 1～3 (本文、「Questions」および「True or False」) 本文から必要な情報を読み取り、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い	p.8-13、22-27、36-41、52-57、66-71、80-85、94-99、110-115、124-129、138-143	
③Part 1～3 (Now You Say It!) 本文を読んで得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ、ウ (3)① オ 3 内容の取扱い	p.8-13、22-27、36-41、52-57、66-71、80-85、94-99、110-115、124-129、138-143	
④Part 1～3 (New Words、Phrases、Sound Focus、Word Focus、文構造・文法事項の例文) Bird's-Eye Viewing (Words & Phrases) Activity Plus (New Words、Phrases、Sound Focus、Word Focus)	2 内容 (1) ア、ウ、エ 3 内容の取扱い	p.8-13、15、18、22-27、29、32、36-41、43、46、52-57、59、62、66-71、73、76、80-85、87、90、94-99、101、104、110-115、117、120、124-129、131、134、138-143、145、148	
⑤Make It Your Own! (Summarize、Retell) 本文の要点をまとめる問題。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い	p.16、30、44、60、74、88、102、118、132、146	
⑥Focus on Language (Grammar、Exercises) 文構造・文法事項のまとめ。文構造・文法事項を活用する活動。	2 内容 (1) エ (別表参照) 3 内容の取扱い	p.17、31、45、61、75、89、103、119、133、147	
⑦Activity Plus (本文、Comprehension) さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を読み取り、要点をまとめる問題。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、ウ (3)② ア、イ (別表参照) 3 内容の取扱い	p.90-91	
⑧Activity Plus (本文、Comprehension) さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、イ、ウ (3)② ア、イ (別表参照) 3 内容の取扱い	p.18-19、32-33、46-47、62-63、76-77、104-105、120-121、134-135、148-149	
⑨Activity Plus (Your Performance) 本文を聞いたり読んだりして得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ、ウ (3)① エ、オ、カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い	p.19、33、47、63、77、91、105、121、135、149	
2. Focus on Five Skill Areas 英語の特徴などのまとめと練習問題。	2 内容 (1) ア、イ (別表参照) (3)① ア、イ、ウ、エ、オ、カ (3)② イ (別表参照)	p.48-49、106-107、150-151	

	3 内容の取扱い	
3. Optional Lesson 1・2 ①Part 1～5 (本文、「Questions」および「True or False」) 本文から必要な情報を読み取り、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い	p.152-161、 164-173
②Part 1～5 (New Words、Phrases、Word Focus)	2 内容 (1) ア、ウ 3 内容の取扱い	p.152-161、 164-173
③Make It Your Own! (Summarize、Retell) 本文の要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い	p.162-163、 174
4. List of Phrases / List of Words	2 内容 (1) ウ	p.181-184

<別表> L : Lesson / OL : Optional Lesson / AP : Activity Plus

課	タイトル 内容 (関連教科など)	・文構造・文法事項 ・英語の特徴など	・テキストタイプ ・言語の働き	配当 時数
L1	Voice for Action 国連ユース気候サミットの参加者のメッセージ (公民、理科、SDGs)	・さまざまな助動詞 ・分詞構文 (現在分詞)	・Mock Summit (AP) ・相づちを打つ／繰り返す／褒める／要約する／理由を述べる／主張する	7
L2	Aren't You Sleepy? さまざまな動物の睡眠 (理科、保健体育)	・受け身の分詞構文 ・副詞節中の〈S+be〉の省略	・Interview (AP) ・要約する／説明する／描写する／質問する	7
L3	The Art of Letters フォントについて (SDGs)	・関係代名詞の非制限用法 ・仮定法過去・仮定法過去完了	・Invitation Card (AP) ・要約する／描写する／発表する	7
Focus on Five Skill Areas 1		・内容に応じた音読 ・未知語の推測 ・インタビュー		1
L4	Are You Prepared? 自然災害と防災 (国語、地理歴史、理科、SDGs)	・助動詞+have+過去分詞 ・完了不定詞	・Presentation (AP) ・共感する／説明する／理由を述べる／質問する	7
L5	The Lasting Legacy 丹下健三さんと広島平和記念公園 (地理歴史、公民、SDGs)	・関係副詞の非制限用法 ・強調構文	・Poster Presentation (AP) ・説明する／報告する／要約する／主張する	7
L6	Actions to Reduce Loss and Waste 食品ロス (フードロス・フードウェイスト) とその対策 (家庭、情報、SDGs)	・完了形の分詞構文 ・複合関係詞	・Questionnaire (AP) ・要約する／説明する／主張する／依頼する	7
L7	Living with Adventure 南谷真鈴さんの冒険とメッセージ (地理歴史)	・さまざまな仮定法 ・否定語+倒置	・Presentation (AP) ・説明する／要約する／感謝する	7
Focus on Five Skill Areas 2		・同格・言い換え表現 ・やり取りをうまく継続させるには ・プレゼンテーション		1
L8	Power to the People! 電池の歴史と将来における発展 (理科、SDGs)	・独立不定詞・独立分詞構文 ・if ...以外が条件を表す仮定法	・Interview (AP) ・説明する／主張する／理由を述べる／質問する	7

L9	Traveling This Beautiful Planet オーバーツーリズムと新しい旅行様式(地理歴史、公民、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 前置詞+関係代名詞 同格の that 	<ul style="list-style-type: none"> Discussion (AP) 主張する/賛成する/反対する 	7
L10	Is That News Really True? フェイクニュース、フェイク写真(情報、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 受動態の進行形 動名詞の意味上の主語 	<ul style="list-style-type: none"> Picture Description (AP) 話題を変える/褒める/描写する 	7
Focus on Five Skill Areas 3		<ul style="list-style-type: none"> パラグラフごとの役割(複数のパラグラフを書く) 文章の展開 		1
OL 1	For Both Our Society and Our Bodies 鉄について		<ul style="list-style-type: none"> Story (Part 1-5) 	10
OL 2	May I Have Your Autograph? ロックスターとそのファンの、サインをめぐるやり取り		<ul style="list-style-type: none"> Story (Part 1-5) 	10
計				93